

講義科目名称： 健康社会学

授業コード： 6620000600

英文科目名称： Sociology of Health and Illness

| | | | |
|--------|-------|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 後期 | 1・2学年 | 1単位 | 選択 |
| 担当教員 | | | |
| ◎徐淑子 | | | |
| 添付ファイル | | | |

| | | | |
|--|--------------------------------------|------------------|----------------|
| 授業種類 | 【開講】 後期 | 【授業時間】 15時間 | |
| | 【担当教員】 【氏名】 徐 淑子 (そう すっちゃん) | 【所属】 新潟県立看護大学 | 【研究室】 3 1 6 |
| 【本学の科目区分】 共通基盤分野 | | | |
| 【D P 1】 【D P 2】 【D P 3】 【D P 4】 【D P 5】 【D P 6】 ◎ | | | |

| | |
|-----------------|---|
| 到達目標 | 1. 社会学的な考え方を健康現象についての研究に応用するための基礎知識を得る。 2. 科学的方法の限界を踏まえた上で、先行研究やじぶんの研究計画を、科学の体系の中に位置づけることができるようになる。 |
| 授業概要 | 研究論文や看護の専門書などでよく遭遇することばのおおもと（初出文献）はどこなのだろうと思ったことはありませんか？ 看護研究では、社会学に由来する研究方法や概念枠組みが多数取り入れられ援用されています。この科目では、看護学を専門とする院生のみなさんにもなじみの深い概念のうち、社会学とその隣接分野での研究に端を発するものを、いくつかとりあげ学びます。前半では、社会学の分野から看護分野にも広く応用されている中範囲理論の考えを学びます。後半では、文献を一つ取り上げて講読します（初回に、取り上げる文献を話し合って決めます）。2025年度は研究方法論にかかるわかりやすい文献を取り上げたいと考えております。教員から、候補の文献を初回に何点か提案しますが、受講生からのリクエストや希望も歓迎いたします。 |
| 授業計画 | 1 保健医療福祉の中の社会科学 授業形態：講義 演習 担当教員のミニレクチャーと討論 2-3 中範囲理論とその活用 授業形態：講義 演習 担当教員のミニレクチャー、受講生の発表、討論 4-7 さまざまな社会調査法、科学的根拠と看護研究 授業形態：講義 演習 担当教員のミニレクチャー、受講生の発表、討論 8 まとめと補足 授業形態：講義 演習 担当教員のミニレクチャーと討論 |
| 事前・事後学習 | 配布資料等を読む／再読する。関連事項等について調べる。 授業内で提示された課題に取り組み、翌週の発表や討議に備える。 |
| 評価方法、評価基準 | 到達目標1, 2に対して、発表（30%）、課題（30%）および討論への参加状況（40%）で評価する。 |
| テキスト | 必携図書は、とくに定めません。 |
| 参考図書・資料等 | 必要な資料は、教員がその都度配布・紹介いたします。 |
| 受講、課題、資料配布等のルール | 当科目は、対面授業と遠隔授業を併用いたします。遠隔授業は、同時双方向型で行います。 受講生の数が少ない場合は、初回の講義日以降、開講日を受講生との話し合いによって決めます。 |
| 教員からのメッセージ | 看護実践が多職種協働をとおして保健医療の現実問題に取り組むように、看護学も隣接する諸科学との協働をとおして、保健医療研究を前進させてきたといえます。看護学にしっかりと軸足を置きつつ、社会科学的な研究の成果を看護・医療の領域に応用していくよう、学びを深めていきたいと考えます。 |
| オフィスアワー | 火・水・木 12:00-13:00。それ以外の日時を希望する場合はメール等でお知らせください。 |